

いちご新品種「とちあいか(栃木 i37 号)」の育成

背景

いちご王国とちぎとして、栃木県産のいちごのさらなる魅力向上といちご生産農家の経営安定を図るため、早生で多収、良食味で輸送性に優れ、病気に強く作りやすいいちご新品種「とちあいか」を育成しました。

育成経過

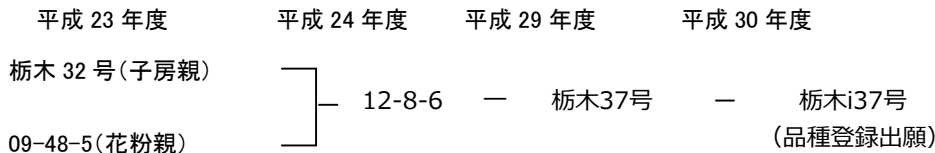


写真1 着果状況

とちあいか(栃木 i37 号)の特徴

「とちあいか」には次のような特徴があります。

- ・草姿は立性で「とちおとめ」に比べ草勢は強く、厳寒期の生育も旺盛。
- ・開花が「とちおとめ」に比べ開花始期は 6~13 日、収穫始期は 10~19 日早い。
- ・収量は「とちおとめ」より 30~40% 程度多い。
- ・果形はハート形で、平均一果重は 20g 程度と「とちおとめ」の 16g に比べて大きい。
- ・果皮色は「とちおとめ」よりも赤味が強い鮮赤色で光沢は同程度に優れる。
- ・果汁に富み、糖度は「とちおとめ」並で、酸度はやや低く良食味で、果皮硬度は硬い。
- ・萎黄病に対して高い耐病性を有する。
- ・先端障害果(先つまり果、先青果、先白果)が一時的に多発する場合がある。



写真2 果実外観

表1 開花・収穫始期、着花数、果実品質等(平成29年度試験成績)

作型	品種	開花始期 (月/日)	収穫始期(月/日)			着花数 (個/株)	可販果数 (個/株)	1果重 (g/個)	可販果率 (%)	糖度 (Brix)	酸度 (%)	果皮硬度 (gf/φ2mm)	先つまり果 (%)
			頂花房	1次腋花房	2次腋花房								
夜冷	栃木 i37 号	9/28	10/27	12/24	1/26	8.0	49.2	17.9	85.0	10.1	0.48	64.2	2.1
	とちおとめ	10/6	11/15	1/12	2/17	18.6	48.2	14.3	71.8	10.5	0.61	55.6	2.0
ポット	栃木 i37 号	10/17	11/17	1/6	1/31	8.8	45.5	20.9	91.8	10.0	0.48	65.7	5.1
	とちおとめ	10/30	12/6	1/26	2/20	19.6	42.0	15.4	77.4	10.1	0.59	53.7	1.1

注. 着花数は頂花房

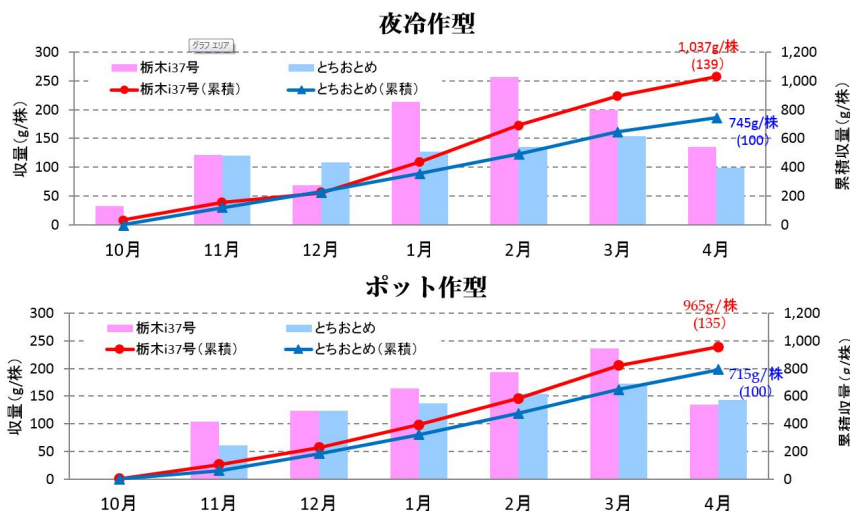


図1 月別収量(H29~30 各種試験の平均)



写真3 果実断面